

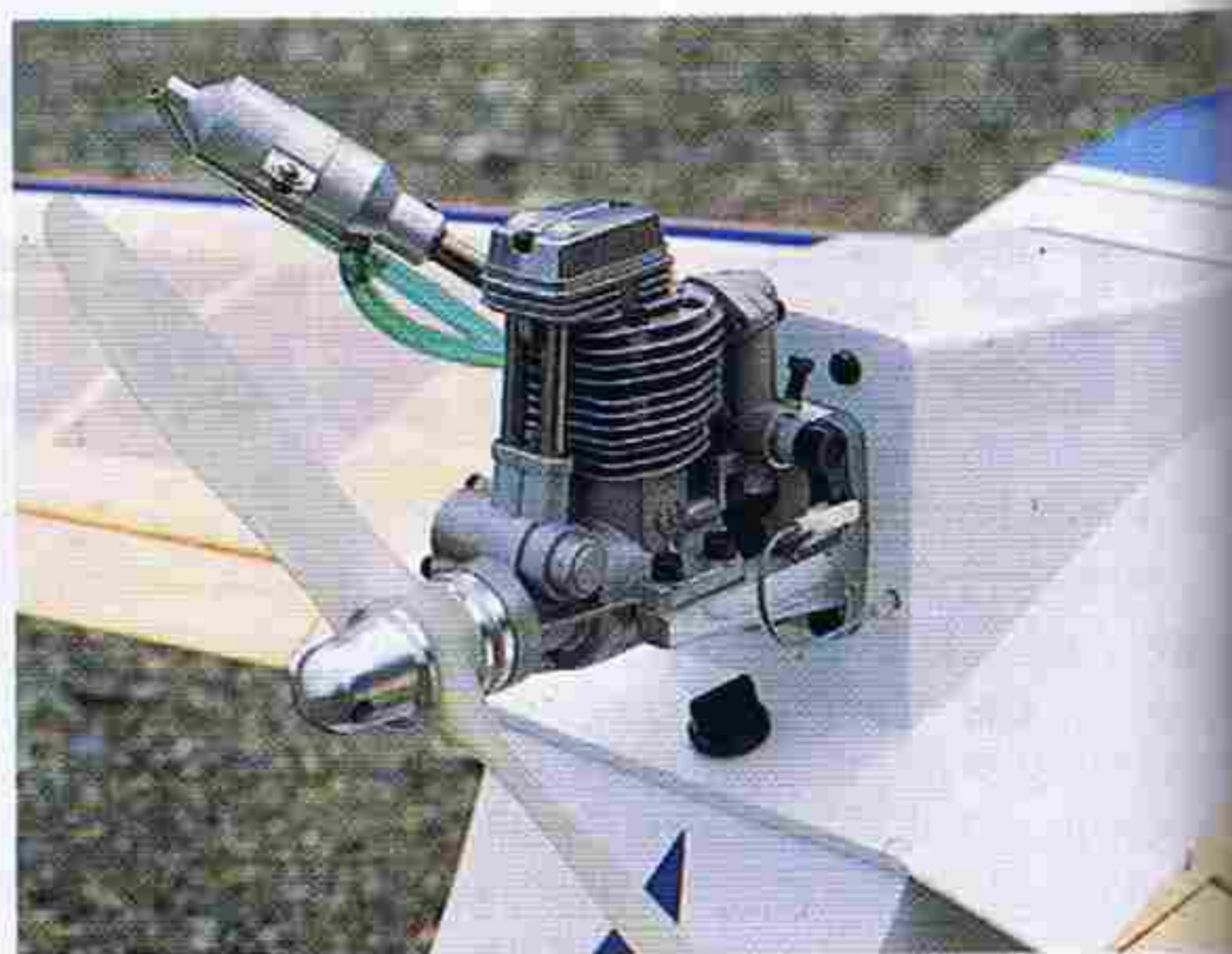


★詳細は本文189ページ

# カナード翼, プッシャー・スタイルの自作飛行艇

## OS FS-26 サーパス搭載 スカイフロート

カナード翼を持ったこのユニークな飛行艇は、昨年11月3日のRC航空ページェントで会場を湧かせたB747スカイクルーザーなどユニークなモデルを製作している安藤由隆氏（横浜市）の最新作。実機の飛行艇にはないスタイルなので性能面に若干の不安はあったものの、理論的には離水は不可能ではないと判断し、設計に着手したという。写真の「スカイフロート」は、スケール感を重視した1号機をベースに、誰でも作れるように直線的なデザインで構成した改良型。飛行成功までにはそれなりの紆余曲折があったと言うが、その模様は本文ページをご覧ください。



↑エンジンは10°という大きなスラスト角を持つ。U字型に曲げたエンコン・ロッドはスムーズな動きを得るのに有効。



←離水後はかなり安定したフライトが可能で、4サイクル・サウンドを楽しむだけの“余裕”もある。

↓強い後退角を持った主翼には、“ムサシノ式”のネジリ下げを施した。

↓変型機や大型機で有名な安藤由隆氏。JRAのエキスパート級認定保持者でもある。

